

## フィリピン

**戦争ではなく平和を！**

**武器ではなくパンを！**

エドゥアルド - F - ランダヤン（フィリピン共産党《PKP - 1930》書記長）

親愛なる同志のみなさん、

大十月社会主義革命（GOSR）107周年記念集会の活動家および出席者のみなさんに、暖かく同志的な挨拶を申し上げます。わたしたちは、みなさん、そして思想運動の同志のみなさんがこの行動を成功させることを祝します。

同志のみなさん、GOSRが響かせたその真髄は、現在の現実に現われています。グローバルな秩序としての社会主義は、死と破壊、悲惨をもたらす帝国主義戦争に終止符を打つことを意味します。それは、人間の搾取と悲惨を終わらせることなのです。グローバルな帝国主義者たち、それに第二次世界大戦の軍国主義的ファシスト戦争での敗北にもかかわらず生き残ったファシストたちは、植民地の人びとに対する戦争、そしてウクライナと中東における最近の代理戦争を続けています。

帝国主義者はいま、再軍備を進め、中国、そしてアジア太平洋地域における別の戦争に備えています。ウクライナにおけるファシストの代理戦争での失敗にもかかわらず、帝国主義は、アジアにおける戦争マシーンを鳴らしています。中国に対する経済戦争として始まった貿易戦争は、いまや、わたしたちの国、みなさんの国、韓国、そして太平洋地域を防衛境界線とする、完全に下劣な紛争に変異しています。そのため、わたしたちの国、みなさんの国、韓国、そして台湾は再軍備を行ない、現代的な軍備を生産し購入するようになりました。

そうして、政府が必要とする歳入を吸いあげ、社会的・教育的・衛生的な支出のために必要な資金を、社会に疎外された有権者からいっそう奪い取っているのです。これは、わたしたちの国でも、またみなさんの国でも起こっています。さらに悪いことに、わたしたちの国は現在、外貨取引に悪影響を及ぼし外貨準備のドル不足を引き起こすような借金や借入金に首まで沈んでいるのです。わが国は純輸入国であり、わが国の経済の生命線であるドルを必要としています。わたしたちは食料、燃料、家庭用品、自動車、鉄鋼、電化製品、軽・重機械を輸入しています。そうして、ドルは世界的にデフレ傾向にあるが、この国ではインフレ傾向にあるのです。

さらに悪いことに、こうしたことが起きているのは、傀儡の指導者たちが、わたしたちのインタレストのためではなく、自国を守るためでもなく、帝国主義者の親玉のインタレストを守るために、戦争と最終的な破滅の準備を進めているからなのです。アジア太平洋地域でも、世界のどこであっても、代理戦争は必要のあるものではありません。軍備と戦争の目的はアジアにおける中国の覇権主義にあるとする帝国主義者の陰謀集团的主張に反して、わたしたちは、アジアでの戦争はかれらの覇権主義的利益をもたらすものと主張します。

アジアを破壊することは、ヨーロッパで起こったように、かれらの世界的な競争相手を

排除することになります。ファシストの介入というヨーロッパの教訓と、それに続くロシアの貿易と金融システムに対する制裁を通じた経済戦争は、ヨーロッパの経済に崩壊をもたらしました。これによって、アメリカの貿易とエネルギー資源の属国となったヨーロッパが生みだされたのです。それはヨーロッパの不況を生みだし、ヨーロッパに対するアメリカの覇権を再強化し、ヨーロッパの労働者を貧困化させて不安定化した社会秩序を生みだしました。ドイツとフランスというヨーロッパの大国は、いまや自国民との戦争状態にあるのです。

こういうことなのです！ わたしたちはそうなってほしくありません。わたしたちはウクライナとウクライナ人難民のグロテスクな姿を忌み嫌います。アジアにおいて、日本において、中国において、わが国において、朝鮮半島において、台湾において、そして太平洋において、こうしたことがあってはなりません。これこそ、わたしたちが大十月社会主義革命、それを祝う理由なのです。平和で豊かなアジアを創造するために、平和の精神をふたたび点火するために、アジアとその他の国々にとっての土地とパンのために祝うのです。わたしたちは敬意を表します！

戦争ではなく平和を！

武器ではなくパンを！

同志のみなさんへ

【訳＝大村歳一】

(見出しは編集部による)